

令和6年度事業報告書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡

1 事業の成果

- ・子どもにやさしいまちづくりネットワーキング事業では、白書事業と連携して、子ども白書発行記念交流会を実施。ネットワーク会員、準会員の申し込みにつながった。さくらの実り基金の助成金対象者をジャーナルで紹介し、ネットワーク会員としてメルマガも配信した。
- ・里親養育支援事業では、実行委員会「ファミリーシップふくおか」を4回開催し、延べ67名が参加。新しい絆フォーラムは、里親家庭の子どもアドボカシー、ファミリーシップふくおかの成り立ちをテーマに2回開催し、246名が参加した。9月以降、毎週末の送迎が必要なケースが増え昨年度の2倍に近い回数の送迎を対応した。里親委託率は55.26%（2025年3月31日現在）。
- ・ネクストダイアローグ・プロジェクトでは、里親家庭へ継続的にタブレットを貸し出しており、本年度の貸し出し延べ日数は3,276日（常時貸出数：8台）となった。また、パソコン・タブレットの操作方法等の相談件数が4件あった。
- ・子ども・NPO調査研究・子ども白書編纂事業では、『ふくおか子ども白書2025』を発行。記事の提供者や著者に配布。また、白書発表会や著者のつながりに配布しながら、次号へ向けてのカンパを募った。
- ・さくらの実り基金では、公募開始し、審査委員会を立ち上げ、書類、面接の審査を経て4団体の採択を行い、12月に助成金を送金した。活動報告や会計報告及び報告会は次年度とした。ジャーナルで採択団体の紹介を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
第5条(3) 子どもに関わる活動の推進事業	・社会的養護の現場のオンライン対話支援	令和6年4月～令和7年3月	オンライン	2名	児童福祉施設、 里親、 里子 延べ12名	51

第5条 (4) 子どもに関する課題に取組む団体・個人の支援事業	・子どもの活動に関する団体を支援するための基金事業	令和6年4月～令和7年3月	法人事務所、オンライン等	7名	市民	1,929
第5条(5) 子どもに関する活動推進のための行政・企業との協働事業	・幅広い市民と関係機関で実行委員会を構成 ・里親制度普及のためのフォーラムや講座の開催 ・里親の交流の場となる里親CAFEの開催 ・里子、実親の交流支援 ・福岡市里親会への支援	令和6年4月～ 令和7年3月	福岡市公共施設、オンライン等	28名	市民・里親・里子 延べ590名	5,835
第5条(6) 子どもとNPOの状況に関する調査研究と社会的提言事業	ふくおか子ども白書の発行・普及	<2025号> 令和7年3月発行	オンライン	30名	市民	63